

KURUMATABI CLUB PRESENTS **1st JAPAN CAMPINGCAR RALLY 2022**



ジャパンキャンピングカーラリー2022
JCCR 2022に参加してきました!

くるま旅クラブの主催で、2022年11月11日から27日の期間開催されたJCCR(ジャパンキャンピングカーラリー)に、ガタガタGOGOこと私たちがヤマガタ夫婦も参加しました。その模様をお伝えします!

photo&text:Yamagata(ガタガタGOGO)

ガタガタGOGO がっちゃん&むっちゃん

リモートワークでフリーランスのモノ書きをしながら旅する暮らしを実践するトラベルライター。

くるま旅クラブ初となる、全国を舞台にした大規模イベントに参加してきました!

“食の旅”を楽しみながら、スタンプに設定されたチェックポイントをまわるため日本海側を突き進むエキサイティングな日々でした。今回は約2週間にわたるくるま旅の様子と、ゴール会場となったイベントの様子をご紹介します!

2023年も開催されるとのこと。旅先でイベントのゴール会場で皆さんと再会できる日がもう待ち遠しくなっています。



スマホを活用して接触を避けたチェックイン

道の駅マップなども手がける、地図専門の会社「ゼンリン」とくるま旅クラブの大々的なコラボで実現した、ラリーのため、いわばくるま旅クラブメンバーのためのアプリ。事前に指定された、全国700箇所以上のチェックインポイントを巡りながら、思い思いにゴールの長野を目指します。スマホを活用、接触せずに現地でも画面タップでチェックインする様子に「さすが現代だなあ」と唖ってしまいました。



くるま旅だから時間を気にせず各地の名所を満喫!

角島大橋



名所、元乃隅神社とセットで行きたいのが、山口県の「角島大橋」。本州にいなからエメラルドグリーンの海を堪能できます。

出雲大社



夫はリモートワーク、妻は出雲大社へ参拝。キャンピングカーなら旅しながら働く環境を整えられるから、こんな旅も実現可能。

水木しげるロード



「立ち寄るつもりはなかったけど、せっかくここまで来たのだから!」なんて寄り道できるのが、くるま旅の醍醐味です。



鳥取砂丘



広大な砂丘を眺めつつ、今回は奥地まで行くのはやめにして体力を温存。次のスポットへ向かいます。

道の駅あまるべ



空の駅「餘部駅」。エレベーターに乗り駅ホームに行く途中に、足元がガラス面になっている部分があり、高さを体感できます。

冬はこたつで鍋パーティーも楽しめるRVパークです。焚き火あり、施設裏には京丹後の海あり、最高でした。

Hygge BASE 京丹後





もちろんグルメも堪能!

- ① 島根県:「道の駅 湯の川」の「のどぐろ丼」は脂がのって、うっとりする美味しさ。
- ② 山口県:「道の駅 阿武町」の「アカモクとシラス」は自炊の井で。海水のちょうどいい塩加減。
- ③ 福井県:「道の駅 福井」の「笹寿司」はテイクアウトで車内でゆっくりいただきました。
- ④ 兵庫県:「Sweets & Café ブラージュ」では磯の香りを楽しみながらおやつタイムです。
- ⑤ 京都府:「だいまるしょうゆカフェ」はランチメニューもデザートも、絶品の塊!
- ⑥ 富山県:お寿司屋さんでは海鮮はもちろん、氷見牛を使ったメニューも楽しめます。
- ⑦ 富山県:「道の駅 万葉の里高岡」の「マス丼」は最高に美味。何度でも食べたい!
- ⑧ 新潟県:「わたや」の「へぎそば」は、海藻のチュルチュル感が楽しく、2人前もベロロ。



日本最古と言われている丸岡城もスポットです。出雲大社参拝時とは逆で妻は車内でリモートワーク、夫は城登りを楽しみました。

丸岡城



RVパーク ECHIZENLOG



目の前は海! ゆえに夕陽を独り占めできる、特等席なRVパークで、とっても贅沢! 平日でも満車の人気RVパークでした。

舞鶴赤レンガ倉庫



近くの港には海上自衛隊の潜水艦も停泊しており、倉庫群では「艦コレ」グッズ目当てのファンも多く見かけました。

アジカル



見覚えのある柿の種カラーの建物、亀田製菓の直売所です。中にはお得すぎるお値段のお煎餅もありました。

RVパーク 小布施屋



長野に入った瞬間に、空気がひんやりとして、一気に秋を感じました。りんごのいい香りが漂ってくるRVパークです。

ゴール地点・長野 「シェーンガルテンおみ」に到着!

約2週間のくるま旅も、いよいよゴール当日! 「シェーンガルテンおみ」が近づいてきます。キャンピングカーと出会うと「この人も参加者かな?」とワクワクソワソワ。ゴールゲート前には参加者の皆さんが続々と到着していました。くるま

旅クラブメンバーの皆さんとお会いできる楽しみに胸躍ります。ゲートにくぐって無事ゴール、感動もひとしおです。愛車と記念撮影をパシャリ。皆さんの笑顔とピースが眩しかった!

ゴール地点でもタップを忘れずに!



ゴール地点もチェックポイント。興奮してチェックインを忘れないようにしましょう。我が家はゴールでちょうど50箇所でした。



ゴールにふさわしい晴れ渡った綺麗な青空と真っ赤な屋根が、緑深い庭園に映えます。間近に雪山を臨む絶景、秋の空気はひんやり冷たいけれど気持ちいい!



私たちやまがた夫婦も無事ゴールを果たしました! 北海道から九州まで、全国各地からくるま旅ファンのつわものが大集結です。



ゴール会場でも イベント盛りだくさん!

太鼓の実演やバイオリンの演奏あり、トークショーあり、座談会に花火もありと、ゴール会場では各種イベントが盛りだくさん。密も回避できる広々とした会場には、老若男女の笑い声があふれていました。



田中美奈子
さんの
ブースも!



お母ちゃんの手作り
信州名物「おやき」。
たくさんの参加者が
懐かしい味を堪能。
地元産の採れたてり
んごや新鮮な野菜の
直売所もあり、お買
い物を楽しみました。



上級者
上位10組は
こちらの皆さん!

1
YAMADAさん



2
UEKIさん



3
SASAKIさん



4 SUGAWARAさん



5 KAMIOさん



6 KUROSAKIさん



7 KOJIMAさん



8 ISHIKAWAさん



9 TANAKAさん



10 TSUBOIさん



夜が更けても、宴会は続きます



夜は庭園がライトアップされ、冷たい空気の中のほろ酔い散歩も気持ちよかったです。このイベントのために用意された打ち上げ花火も大迫力でした。



田中美奈子さんのサイン争奪!
本気のじゃんけん大会もおおいに盛り上がりしました。



ゴール「シェーンガルテンおみ」に 集合した、くるま旅のつわもの達

第一回ジャパンキャンピングカーラリー2022の締めくくりは、横断幕を掲げての記念撮影。ラリーの名の通り、選定されたスポット=チェックポイントを楽しみながらゴールする、ゲーム性のあるくるま旅ファンのためのとても楽しいイベントでした。今年2023年も開催を予定しているジャパンキャンピングカーラリー。詳細はこれから発表になるとのこと。次回のゴールで是非お目にかかりましょう!

第一回に
参加した方も、
できなかった方も
是非ご参加を!

ラリーの名の通り、選定されたスポットを楽しみながら、ゴール地でお会いしましょう! なお、今年のスポットはまだ未選定だそうです! 今から発表が楽しみです。



ライター岩田の

JCCR2022 体験記

くま旅クラブ会員の皆さん、初めまして！夫婦で「ジャパンキャンピングカーラリー2022」に参加させていただいた、ライターの岩田です。JCCRとはどんなイベントなのか？どんな楽しみ方ができるのか？実際に参加してみなければわからない「JCCRの魅力」を、ユーザー目線でレポートします。

11月11～27日の約2週間にわたって、くま旅クラブ初のイベント「ジャパンキャンピングカーラリー2022」が開催されました。このイベントは、期間中に全国のJCCR設定スポットを自由に回ってスタンプを集め、指定日に長野県の会場にゴールするスタンプラリー。集めたスタンプの数で、初級・中級・上級ランクのクリアを目指します。

筆者的に魅力だったのは、「全国どの地点からでもスタートできて、日帰りでも

参加OK」という点。ライター業は毎日が始め切りの連続で休みが不規則なのですが、これなら気軽に参加することができます。そんなわけで、仕事が落ち着いている平日を使って、妻と一緒にスタンプ集めの日帰り旅をスタートしました。

訪問したのは、東京の自宅からアクセスしやすい房総エリアです。1日目は木更津から九十九里を回るルート、2日目は南房総エリアをグルッと周遊するルートを設定。どちらも朝6時に自宅を出発して夕方にはドライブを終えるスケジュールを組んで、スタンプ集めと観光を兼ねた日

帰りキャンピングカー旅を満喫しました。旅の計画やスタンプ収集には、60日間無料で使える「道ゆきアプリ」を活用します。アプリの地図上に表示されたJCCRの設定スポットを順番に選んでいくだけで、簡単に旅の計画を作れるのが非常に便利！ラリー中は、スポットに近づくアプリの画面内でボタンが点滅するので、それをタッチすればアツという間にチェックイン完了です。集めたスタンプは、アプリの台帳でいつでも確認可能。「道ゆきアプリ」のおかげで、快適にスタンプラリーを楽しむことができました。

もともと我が家の旅は高速道路を使って自宅と目的地を往復するスタイルで、あまり寄り道をすることはありませんでしたが、JCCRのスタンプ集めをキッカケに、今まで素通りしていたスポットをたくさん訪れることができました。我が家に、「今まで知らなかった魅力的なスポット」と「新しいキャンピングカーの楽しみ方」を教えてくれたジャパンキャンピングカーラリー。まずは、1～2日目の房総日帰り旅の様子をご覧ください。

岩田一成 いわた・かずなり
キャンピングカー3台を乗り継ぎ、家族と1000泊以上のキャンプ・くま旅を経験。雑誌、新聞、WEB、テレビなど、様々な媒体でキャンピングカーの魅力発信している。著書「人生を10倍豊かにする至福のキャンピングカー入門」



Day.1

九十九里の海の幸と絶景を満喫する日帰り旅

キャンピングカーラリー1日目は、アクアラインで千葉に渡って木更津から九十九里までドライブ。行く先々でスタンプを集めながら、外房の絶景と新鮮な海の幸を満喫しました。



最初のチェックインはここ！



RVパーク GREEN BASE木更津
最初の目的地は、木更津にある都市型RVパーク。周囲に大型アウトレットやコストコがあり、利便性は最高レベル！ここで記念すべき最初のチェックインを果たしました。
◆千葉県木更津市金田東1-48-10



道の駅 木更津うまかつの里

約2000点の地元名産品がズラリと並ぶ「食のテーマパーク」。千葉特産のピーナッツ商品が充実していて、お土産選びにも最適です。なかでもピーナッツソフトクリームは、ここに来たら絶対に味わっておきたい逸品！
◆千葉県木更津市下郡1369-1

海の駅 九十九里

◆千葉県山武郡九十九里町小関2347-98



片貝漁港の目の前にあり、水揚げされたばかりの新鮮な魚介類をリーズナブルな価格で味わえます。この日のランチは、船盛と天ぷらがセットになったボリューム満点の「葉武里定食」！

飯岡海水浴場

◆千葉県旭市横根1356

九十九里で唯一、砂浜にクルマを乗り入れできる海水浴場。ここで雄大な外房の海を眺めて、ラリー初日を締めくくりました。4WD車なら問題なく走れますが、2WD車はスタックに注意！



RVパークsmart 山の駅 養老溪谷 喜楽里



房総の秘境「養老溪谷」の中心部にある、観光拠点にピッタリのRVパーク。豊かな自然に囲まれたロケーションで、ゆったりと過ごせます。敷地内にお食事処や物産展もあり。
◆千葉県夷隅郡大多喜町小田代135



道ゆきアプリで楽しくスタンプ集め！

朝6時に自宅を出て木更津から九十九里を回り、19時に帰宅。楽しく充実した日帰り旅でした。

Day.2 南房総の道の駅を1日かかりで周遊

2日目の行先も、自宅から近い千葉。今回は房総半島の北側を回ったので、今回は南房総エリアをグルッと周遊。1日で15か所のスポットを回り、楽しみながらスタンプを集めました。



道の駅 保田小学校

この日最初の目的地は、廃校になった小学校を改修した道の駅。懐かしい給食が味わえる食堂や宿泊施設、物産館など、施設も充実しています。
◆千葉県安房郡鋸南町保田724

RVパーク 南房総・白浜

道の駅白浜野島崎に併設された、房総半島最南端のRVパーク。海からも近く、南房総白浜エリアの観光拠点としてピッタリのスポットです。
◆千葉県南房総市白浜町滝口9240



白浜野島崎灯台

◆千葉県南房総市白浜町白浜630

房総半島最南端の岬に建てられた灯台です。周囲は国定公園として整備され、白浜の海を眺めながら遊歩道を散策可能。参観寄付金300円を払って灯台に上れば、眼前に360°の大パノラマが広がります！



道の駅 ちくら潮風王国

◆千葉県南房総市千倉町千田1051

太平洋を一望できる広大な敷地に、漁船を展示した芝生広場が広がっています。鮮魚コーナーや海鮮食堂の充実度もピカイチ！ランチには、レストラン「はな房」でボリューム満点の海鮮丼をいただきました。



道の駅ローズマリー公園

千葉県南房総市白子1501

中世ヨーロッパの建物や庭園を再現した、フォトジェニックな道の駅。敷地内を散策すると、異世界に足を踏み入れたような不思議な感覚を味わえます。新鮮な海鮮丼や地元農産物など、食のエリアも充実！



アプリで道の駅もわかりやすい

南房総は、道の駅天国！日帰りで行った15スポットのうち、12か所が道の駅でした。早朝6時から夕方まで走って、1日の走行距離は290km！





シェーンガルテンおみ
 長野県東筑摩郡麻績村日3434

いよいよゴール会場の「シェーンガルテンおみ」に到着！ たくさんの方がチェッカーフラッグを振って迎えてくれました。2週間に及ぶラリーを終えた達成感を胸に、笑顔いっぱいゴール地点のアーチをくぐりました。

Goal!

楽しかったラリーを締めくる至福の週末

2週間にわたって開催されたJCCRもついに最終日。前夜に自宅を出発して高速SAで仮眠をとり、最後までスタンプを集めながら感動のゴール！ 楽しみが詰まった会場で至福の週末を過ごしました。

道の駅 雷電くるみの里
 長野県東御市滋野乙4524-1



早朝に横川SAを出発後、途中で高速道路を降りて下道をドライブ。軽井沢エリアで4か所の設定スポットを回って、ゴールを目指しました。道中の「道の駅雷電くるみの里」では、青空にかかる美しい虹に遭遇！

前夜A.M.0:00



ゴール前日は、夜のうちに東京の自宅を出発して上信越自動車道下りの横川SAで仮眠。翌日のゴールに向けて、ワクワクした気分です。

感動のゴール！



「ジャパンキャンピングカーラリー」も、いよいよ締めくくり。11月26日のゴール前夜に自宅を出て、長野方面に向かいました。道中の高速SAで仮眠をとり、翌日朝から軽井沢エリアでスタンプを収集して、お昼前にゴール会場の「シェーンガルテンおみ」に到着！ たくさんのチェッカーフラッグに迎えられながらゴールのアーチをくぐったときは、達成感と幸福感で自然に笑顔がこぼれました。

ゴール会場では、地元グルメ、イベントステージ、温泉、花火、車中泊など、お楽しみが目白押し！ 「これだけでもジャパンキャンピングカーラリーに参加したかいがある！」と思えるほど、充実した内容でした。何よりも、迎えてくれるスタッフや参加者の笑顔にあふれた、アットホームな雰囲気が素晴らしかった！ やっぱイベントは、見るよりも参加する方が何倍も楽しめます。我が家は来年も必ず参加しますので、今年参加されなかった皆さんはぜひ「ジャパンキャンピングカーラリー2023」のゴール会場でお会いしましょう！

結果は中級ランク！

到着後は、本部テントでゴール特典をいただいて獲得スタンプ数を確認。今回のラリーの結果は、スタンプ31個で「中級ランク」認定でした。自分的には大満足です！



ゴール会場には、全国から約100台のキャンピングカーが大集結！ ラリー参加者は無料で車中泊できるので、ゆったりした気分でゴールイベントを楽しめました。



ランチは、会場内で購入した地元食材のおにぎりと、地元信州の薪を使って450℃の石窯で焼き上げたキッチンカーの本格ピッツァ。どちらも最高の美味しさでした！



あたたまる〜



ゴール会場では、無料のきのこ汁もふるまわれました。具だくさんのきのこ汁は、まさに絶品！ 外はかなり冷え込んだので、温かい食べ物がありがたかったです。

ステージではイベントが盛りだくさん！



開放的な芝生広場のステージでは、地元の太鼓演奏やクラシックコンサートをはじめ、女優 田中美奈子さんやYouTuberガタガタGOGOさんのトークショーなど、楽しい催しが目白押し。多くの人が広場にチェアを持参して、ステージを楽しんでいました。

夜は、車中泊スペースの目の前で打ち上げられる大迫力の花火を堪能してから、ホテルの大広間で開催された「つどいの広場（交流会）」に参加。皆さんが積極的に発言したり、ユーザー同士で交流を深めている様子が印象的でした。



夫婦で参加したジャパンキャンピングカーラリーは、本当に楽しかった！ 妻もゴール前から「2回目も絶対参加する！」と断言するほど、心からイベントを満喫していました。



実際に参加して感じたJCCR2022の魅力

その1 寄り道が楽しい！



「スタンプを集める」という目的のおかげで、今まで素通りしていたような場所にもたくさん立ち寄ることができ、新しい魅力を発見することができました。「キャンピングカーの新しい楽しみ方を体験できた」のが、JCCR2022に参加して一番よかったことです！

その2 道ゆきアプリが便利！



JCCR参加特典として60日間無料で使えた「道ゆきアプリ」が、とても便利でした。アプリを使って、JCCRの認定スポットをたどりながら計画を練る時間も楽しみのひとつ！ 集めたスタンプを台帳で確認できるのも、モチベーションアップにつながりました。

その3 ゴールイベントが充実！



ゴール会場の催しが充実していて、「これだけでもJCCRに参加する価値がある」と思えるほどでした。地元のグルメや温泉はもちろん、ステージイベントや花火なども楽しめて、会場で車中泊も可能！ 参加者皆さんの笑顔にあふれた、素晴らしいゴールでした。